

山野に遊ぶ

会 期 2016年4月16日(土)～2016年6月19日(日)

四方を海に囲まれた日本の国土は、内陸には山々が連なり、山岳、湿原、湖沼、峡谷、清流と、変化に富んだ表情豊かな山と野に囲まれています。私たちが暮らす群馬も、武蔵野の奥、海から離れた内陸にあつて山野の情景が美しい地勢にあります。こうした気候風土は、そこに住む人間の自然観にも影響を与えています。

山はランドマークであるとともに、人に恵みを与え、ときには災禍を招き、人知を超えた存在として畏敬されてきた、地域の信仰対象でもあります。そして、人の手が入らない寂寞とした原野が持つ趣は、自然の造形の神秘を感じさせます。

現代人が雄大な自然の光景に心奪われ、人里離れた山野に生きる鳥や動物、植物に魅力を感じるのには、先人たちが畏敬してきた自然に対する記憶を引き継いでいるからかも知れません。

本展覧会では、“山”と“野”をキーワードとし、日本画に描かれた山野の情景を辿ってみたいと思います。

会 場 高崎市タワー美術館 (〒370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773)

開 館 時 間 午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ 午前10時～午後8時 (入館は午後7時30分まで)

休 館 日 毎週月曜日、休日の翌日 ※4月29日～5月5日は休まず開館します

会期中の休館日：4/18・25、5/6・9・16・23・30、6/6・13

観 覧 料 一般：500円(400円)、大学・高校生：300円(250円)

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

協 力 ヤマタネグループ、公益財団法人タカヤ文化財団 華鶴大塚美術館

後 援 朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎

関連事業

- 学芸員による作品解説会 4/16、5/1、5/15、5/28、6/12 14:00～